

議員 市行政が町会の協力をよって大きな成果を上げてきたことは大いに評価する。

しかし、近年、全国各地から移転してきた方だけでなく、従来から住んでいた方にも、町会の境界線が地域によってまちまちでわかりにくい。下戸田地区の一部や上戸田地区では、境界が町丁別でなく、また道路で仕切られていない所もあり、より一層わかりにくくなっている。

町会の境界変更

についての対応は

奥田 実 議員

このような状況を、担当としてどのように受けとめているか。

また、今、新曽の区画整理が進められているが、町丁別にしたらと思うがどうか。

総務部長 町会・自治会の区割りについては長年の歴史的な背景によるものと思われるが、道路や町丁別になっていない地域、境界が不明瞭な地域が一部にある。この区割りに関しては、町会内において問題が生じ、対応に苦慮するようなことがあれば、資料の提供や助言など側面から支援していきたい。

新曽地区については、区画整理事業が進行中である。終了時に地元の方々と協議していく。



▲大型車の夜間駐車はどうぞこちらへ(競艇場バスターミナル)

市民生活部長 市では違法駐車等防止指導業務の実施を前年の1.5倍の180日、啓発活動を中心に、悪質車両事業者の特定に努めている。また、6月からの道路交通法の改正、施行に伴い減少傾向にある。利用状況については徐々に増加しているが、依然として仮眠や時間調整をする大型車が見受けられる。さらなる利用を図っていく。

夜間無料開放を実施しているが、まだ散見する。その現状と今後の対策について伺う。

元気老人及び生活保護対象者の就労対策を

中名生 隆 議員



▲ご相談にのりますよ(シルバー人材センター)

議員 来年は約1000万人が定年を迎え、高齢化が加速する。年金だけでは生活できない元氣老人、また、就労意欲はあるが、就労ができない生活保護対象者に対し、農園就労試行事業等、多様な就労対策をしてはどうか。

福祉部長 現時点で高齢者に対し、就労機会の確保策としては、シルバー人材センターを考えている。生活保護対象者については、福祉事務所の組

織的な自立支援プログラムの策定時に総合的な研究をしていく。

荒川水循環センター 上部利用は

議員 上部利用の維持管理費等の視点から、選択

肢の一つとして、高齢者・障害者の就労支援も含めた多様な使い方の農業公園をつくってはどうか。

都市整備部次長 緑地を基調とした中に、市民意向を反映した利用計画としていることから、ご提案の内容については、関係する地元団体をはじめ、関係機関との協議が必要と考えている。

農地保全アンケート 結果は

議員 平成18年度の戸田市の農地は1.7%となっている。今後の農地保全について、支援策についてのアンケート調査の結果と、その集計結果の活用について伺いたい。

市民生活部長 市としては、農地保全の大変貴重な資料であるので、今後の農地保全策を検討し、農業委員会でも協議し、関東農政局の都市農業振興窓口や国にも、農地の有効活用を要請していく。

一般質問

改正介護保険

への対応は

岡寄 郁子 議員

議員 改正介護保険で、介護度を軽く認定され、利用していた車いすや電動ベッドの取り上げ、ホームヘルプサービスの削減が起きている。今までどおり利用できるよう、市が助成をしてはどうか。

高過ぎる介護保険料の負担軽減を

議員 今年、65歳以上の介護保険料が平均で4割近くも値上げとなった。負担軽減を考えるべきではないか。



▲介護サービス水準維持を

石川県の川北町は介護保険も福祉施策の一つと、介護保険会計に一般会計から繰り入

れし、保険料値上げを抑えた。他にもこうした自治体はあり、市のやる気次第だ。真剣な検討を求める。

市長 国の強力な指導があり、引下げは難しい。

議員 市内2カ所の特別養護老人ホームの待機者は600人以上にもなる。施設整備の考えは。

福祉部長 当面は、地域に密着した小規模な介護施設の誘致について支援していきたい。

オリンピック道路の冠水対策を

議員 集中豪雨で冠水するオリンピック道路の改善をどう考えているか。

都市整備部次長 道路管理者である県と相談を始めている。緊急対策としては、側溝ふたの改善や雨水ますの設置などを進めていく。本格的には、20年度から新曽地区の雨水対策工事を行う。

委員会傍聴が拡大

臨時会・閉会中の委員会も傍聴できるようになりました。(議会運営委員会と議会改革特別委員会は除く)

議場ミニコンサート

市制40周年を記念して、9月5日、本会議開会前に、議場でミニコンサートが開催されました。(表紙写真)

優勝

本市議会議員クルー

9月2・3日、第15回全国市町村交流レガッタ南砺大会(富山県)が開催されました。本市議会からは2クルーが参加し、「モクセイチーム」が議員の部で2年ぶり3回目の優勝を果たしました。また、市民の部成年男子・女子、壮年男子・女子もそれぞれ健闘し、「ボートのまち戸田」をアピールするとともに、参加市町村の方々との交流を深めてきました。

視察報告

7月13日 宮城県議会
14日 本吉町議会

議会改革特別委員会

宮城県議会では、地方分権推進、議会権限強化を背景に、議会改革に関する特別委員会等を必要に応じて組織し、検討を重ねてきました。

主な成果は、①開かれた議会として、県議会の情報公開条例を制定し、委員会の原則公開、本会

議のライブ並びに録画中継。②監視機能強化として、ブランドデザイン・マスタープランの策定・変更・廃止を議決事件として、③立法機能強化として、事務局に政策法令班の設置、職員増強し、議員提案条例を平成10年から計16本制定。なお、実現に

本吉町議会では、議会の立場から町民への町政に関する情報提供並びに町民の声を聴取するための議会報告会や、議会傍聴の機会を拡大し、町政への関心を高めるための夜間議会を開催しているとのことでありました。